

環境経営レポート

認証・登録番号 004912

(2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日)



2025 年 4 月 1 日

株式会社 五美清掃

(1) 組織概要

- ① 事業所名：株式会社 五美清掃
- ② 代表者名：代表取締役 小早川 輝明
- ③ 設立：平成 20 年 3 月 12 日
 有限会社 五美清掃を商号変更し移行により設立
資本金：300 万円
- ④ 環境管理責任者 小早川 輝明
EA 事務局 小早川 史明
- ⑤ 本社 〒202-0003 東京都西東京市北町 5-9-4
 TEL 042-439-4366 FAX 042-439-4451
新座積替保管倉庫 〒352-0016 埼玉県新座市馬場 4-2-14
- ⑥ 事業概要
- ・売上高：314 百万円（令和 4 年度）
 - ・従業員数：33 人
 - ・床面積：本社 65.88 m²
 本社駐車場 699 m²
 新座積替保管倉庫 165.62 m²
- 事業内容：一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
- 主な取引先
- ・西東京市収集運搬委託業務・練馬区リサイクル収集運搬委託業務
 - ・西東京市特定家電リサイクル事業
 - ・西東京市役所殿・練馬区役所殿・(株)みずほ銀行殿
 - ・(株)三菱東京UFJ 銀行殿・飯能信用金庫殿
- ⑦ 許可内容
- 東京都産業廃棄物収集運搬業（第 13-00-014711 号）
- ・許可の年月日 令和 6 年 4 月 1 日
 - ・許可の有効年月日 令和 11 年 3 月 31 日
 - ・業の区分 収集・運搬（積替え保管を除く。）
 - ・産業廃棄物の種類 廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類

東京都特別管理産業廃棄物収集運搬業（第 13-50-014711 号）

- ・許可の年月日 令和 3 年 1 月 22 日
- ・許可の有効年月日 令和 8 年 1 月 21 日
- ・業の区分 収集・運搬（積替え保管を除く。）
- ・産業廃棄物の種類 廃油（揮発油類・灯油類・軽油類）

東京都 23 区一般廃棄物収集運搬業（第 805 号）

（練馬区・板橋区・中野区・杉並区）

- ・許可期間 令和 6 年 12 月 1 日～令和 8 年 11 月 30 日
- ・業の区分 収集・運搬（積替え保管を除く。）
- ・取り扱う一般廃棄物の種類 普通ごみ、廃家電

西東京市一般廃棄物収集運搬業（第 13 号）

- ・許可期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- ・業の区分 収集・運搬
- ・取り扱う一般廃棄物の種類 事業系一般廃棄物、特定家庭用機器廃棄物

武蔵村山市一般廃棄物収集運搬業（第 57 号）

- ・許可期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日
- ・業の区分 収集・運搬
- ・取り扱う一般廃棄物の種類 事業系一般廃棄物

清瀬市一般廃棄物収集運搬業（第 27 号）

- ・許可期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- ・業の区分 収集・運搬
- ・取り扱う一般廃棄物の種類 事業系一般廃棄物

東久留米市一般廃棄物収集運搬業（第 36 号）

- ・許可期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- ・業の区分 収集・運搬
- ・取り扱う一般廃棄物の種類 事業系一般廃棄物 特定家庭用機器廃棄物

所沢市一般廃棄物収集運搬業（第 41 号）

- ・許可期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日
- ・業の区分 運搬業
- ・取り扱う一般廃棄物の種類 その他（特定家庭用機器廃棄物）

埼玉県産業廃棄物収集運搬業（第 01110014711 号）

- ・許可の年月日 令和 2 年 8 月 19 日
- ・許可の有効年月日 令和 7 年 7 月 18 日
- ・事業の範囲 積替え保管を含む：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、がれき類

埼玉県特別管理産業廃棄物収集運搬（第 01152214711 号）

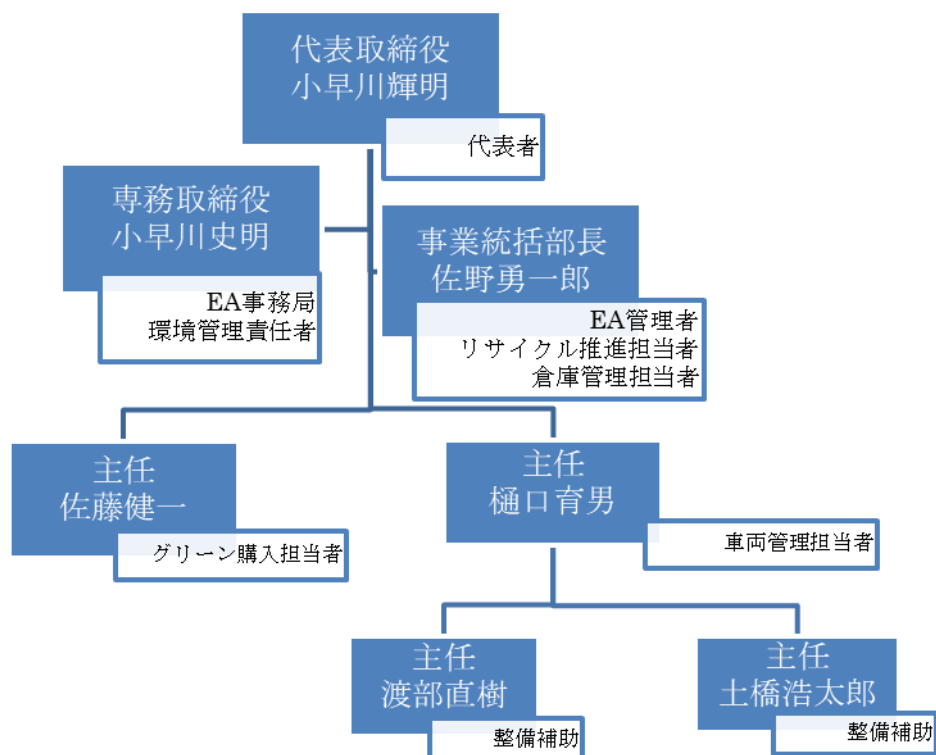
- ・許可の年月日 令和 2 年 12 月 7 日
- ・許可の有効年月日 令和 7 年 12 月 7 日
- ・事業の範囲 収集運搬（積替え保管を除く）
- ・産業廃棄物の種類 廃油（揮発油類・灯油類及び軽油類に限る）

古物商許可 東京都公安委員会許可（第 308901207567 号）

- ・事務機器商 交付 平成 24 年 6 月 22 日

関東運輸局一般貨物自動車運送事業（第 769 号）

⑧ エコアクション組織図



役割・責任・権限

代 表 者 (社長)

- ・環境経営に関する統括責任。
- ・環境経営システムの実施に必要な(人・設備・費用・時間・技能・技術者)を準備。
- ・環境管理担当者を任命。
- ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。
- ・環境目標・環境活動計画書を承認。
- ・代表者として全体の評価と見直しを実施。
- ・課題とチャンスの表明
- ・環境活動レポートの承認。

環 境 管 理 責任者

- ・環境経営システムの構築、実施、管理。
- ・環境関連法規等を取りまとめる。
- ・環境目標・環境活動計画書を確認。
- ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。
- ・環境活動レポートの確認。

事務局

- ・各管理担当者の補佐、EA21 推進委員会の事務局。
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。
- ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。
- ・環境活動の実績集計。
- ・環境関連法規等取りまとめ表の作成。
- ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
- ・環境活動レポートの作成、公開。(事務所に備付けと地域事務局への送付)

管理担当者

- ・積保倉庫管理担当者は、倉庫を清潔に管理し、火災予防の手を講ずる。
- ・積保倉庫管理担当者は、搬入された廃棄物を適切に分別されているか確認する。
- ・車両管理者は車両が清潔に、故障なく管理されているか確認する。
- ・車両管理者はアイドリングストップやエコ運転の実施状況をドライバーに確認する。
- ・リサイクル推進担当者は、積保倉庫管理者と協議し、リサイクル率向上の方法を講じる。
- ・リサイクル推進担当者は、搬入され分別された廃棄物の量を調査する。
- ・グリーン購入担当者は、備品購入の際、グリーン商品をチェックする。
- ・グリーン購入担当者は、備品の無駄使いがないか管理する。
- ・各担当者は、随時打ち合わせを行い、問題点の解決を目指す。
- ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を学ぶ。
- ・各管理担当者と協力し、自主的・積極的に環境活動へ参加。

全従業員

⑨ 積替保管場所新座倉庫

保管施設の種類及び保管上限量

産業廃棄物の種類	保管面積	保管高さ	保管上限
廃プラスチック類 以上 1 種類	7.3 m ²	2.7m	16.9 m ³
紙くず 以上 1 種類	7.3 m ²	2.7m	16.9 m ³
木くず 以上 1 種類	7.3 m ²	2.7m	16.9 m ³
繊維くず 以上 1 種類	7.3 m ²	2.7m	16.9 m ³
金属くず 以上 1 種類	7.3 m ²	2.7m	16.9 m ³
ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず以上 1 種類	7.3 m ²	2.7m	16.9 m ³
がれき類 以上 1 種類	7.3 m ²	2.7m	16.9 m ³

⑩ 保有車輛

3 t 塵芥車	18 台
2 t 塵芥車	2 台
2 t ダンプ車	5 台
2 t トラック平車	4 台
1 t トラック	3 台
軽トラック	3 台
営業乗用車	1 台

⑪ 取扱廃棄物量

2018 年	事業系一般廃棄物	511.9 t	産業廃棄物	519.9 t
2019 年	事業系一般廃棄物	490.0 t	産業廃棄物	622.5 t
2020 年	事業系一般廃棄物	566.4 t	産業廃棄物	527.0 t
2021 年	事業系一般廃棄物	632.4 t	産業廃棄物	628.5 t
2022 年	事業系一般廃棄物	810.1 t	産業廃棄物	508.7 t
2023 年	事業系一般廃棄物	655.4 t	産業廃棄物	568.7 t
2024 年	事業系一般廃棄物	684.8 t	産業廃棄物	588.8 t

自治体委託廃棄物を除く

(2) 認証登録の対象範囲

- ・ 事業活動 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
- ・ 本社 東京都西東京市北町 5-9-4
- ・ 新座積替保管倉庫 埼玉県新座市馬場 4-2-14

(3) 環境経営方針

当社は、環境問題が世界共通の最重要課題と考え、自主的・積極的に社員一丸となって地球環境の保全と環境に係る社会貢献を目指した企業活動を推進してまいります。SDG s の活動に賛同し、持続可能な社会構築のために協力してまいります。循環型社会を担っている立場であることに自覚を持ち事業活動である、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業に伴う環境負荷を削減する為に継続的改善の取り組みを行います。

【環境負荷削減の行動指針】

- 1、二酸化炭素の排出量を減らすにあたり、エコドライブ等を実施する。
- 2、廃棄物の適正処理、徹底分別によりリサイクル率を UP する。
- 3、節水に努め省資源化を図ります。
- 4、節電（エアコンの温度調節、照明の消灯等）に努め省エネルギー化を図ります。
- 5、環境保全に関する、環境関連の法規制、条例、及びその他の要求事項を遵守します。
- 6、事務用品等のグリーン購入の推進を実施します。
- 7、顧客に対して環境負荷の削減をしてもらえるように説明し、資源化への分別等の提案をする。
- 8、循環型環境社会の認識を全従業員が理解を深めるための資格取得に対して会社から支援を行う。（エコ検定試験等）
- 9、この行動指針を全従業員に周知し、教育を徹底します。

株式会社 五美清掃

改定日 2022 年 4 月 1 日

作成日 2009 年 9 月 1 日

代表取締役

小早川 輝明

(4) 環境経営目標と実績

1) 中長期環境経営目標

	単位	基準年 実績	2024 年 目標	2025 年 目標	2026 年 目標
二酸化炭素排出量 削減	kg 対基準比	170,000 (新基準)	170,000 (0%)	170,000 (0%)	170,000 (0%)
水資源の削減	m ³ 対基準比	400 (新基準)	400 (0%)	400 (0%)	400 (0%)
産業廃棄物 リサイクル率	% 対基準比	73.2	76.0 (+4%)	80.0 (+9%)	80.0 (+9%)
事務用品その他 グリーン購入率	% 対基準比	100	100 (0%)	100 (0%)	100 (0%)
電力	kWh 対基準比	15,200 (新基準)	15,200 (0%)	15,200 (0%)	15,200 (0%)
*1 ガソリン	ℓ 対基準比	8,000 (新基準)	8,000 (0%)	8,800 (+10%)	8,800 (+10%)
*1 軽油	ℓ 対基準比	50,000 (新基準)	50,000 (0%)	60,000 (+20%)	60,000 (+20%)
液化石油ガス	kg 対基準比	78.24	75.96 (-3%)	76.0 (-3%)	76.0 (-3%)

*電力の二酸化炭素排出量は、東京電力 2022 年調整後排出係数 0.376 kg-CO₂/kWh で算出

*基準年は 2022 年とする

*1 目標の再設定 ガソリン車 6 台→7 台に増車の為、1.1 倍とする。

*1 目標の再設定 ディーゼル車 24 台→29 台に増車の為、1.2 倍とする

2) 2024 年の環境経営目標と実績

	単位	2024 年 目標	2024 年 実績	差異	前 半 評 価	後 半 評 価	全 体 評 価	前期評価	後期評価
二酸化炭素 排出量削減	Kg-CO ₂	170,000	173,109	▲ 3,109	◎	×	△	-4006 と目標達成。引き 続き頑張っていく。	未達となってしまう た。燃料消費増による。 前半達成していたので 残念。
水資源削減	m ³	400	356	34	◎	◎	◎	節水型トイレはとても効 果がある。	節水に対する社員の意 識が向上している。
産業廃棄物 リサイクル 率向上	%	76.0	86.1	10.1	◎	◎	◎	大幅に向上した。倉庫に おける分別が徹底された 結果と思われる。	目標達成。リサイクル しやすい廃棄物が増え たことによる。
グリーン購 入率	%	100	100	0	◎	◎	◎	事務用品では達成	目標達成。
電力	kWh	15,200	12,985	2,215	◎	◎	◎	エアコンの稼働が少な かったので電力が抑えら れた。	省エネエアコン・LED 導入と事務所稼働時間 の短縮の効果。
ガソリン	ℓ	8,000	10,380	▲ 2,380	×	×	* 1 △	小回りの利くガソリン車 の稼働増により未達。	事業の遂行の関係でガ ソリン車の稼働が増え た。
軽油	ℓ	50,000	52,381	▲ 2,381	◎	×	* 1 △	トラックの増車にもか かわらず目標を-1040 と達 成することができた。	後半に応援車両の要請 があり、稼働増・走行 距離増となり、未達と なった。
液化石油ガ ス	kg	75.96	78.44	▲ 2.48	×	◎	×	温水を使う頻度が多か った。改善を要す。	電気ポットを導入。夏 場のガス利用を減らせ るようにしたい。

* 次年度も継続して目標に向け全社で活動いたします

* 1 目標の再設定 ガソリン車増車 1 台・ディーゼル車増車 5 台にもかかわらず大幅な増加に
ならなかったので判定を△とした。

(5) 環境経営活動計画、取組結果とその評価、次年度への取組

環境目標	担当者	取組	結果	評価	次年度取組
二酸化炭素 排出量の 削減	専務 佐藤	エアコンの温度 管理	空調は必要。事務 所のエアコンも代替 した。	○	フィルターのこまめな掃除を行う。
	専務	不要照明の消灯	事務所・休憩所・倉 庫をすべて LED 照 明に変更	○	残業無で退社時間を早くする。
	専務	ガス使用の削減	常時給湯器を稼働 させてしまった。	△	夏場の給湯器の使用を抑える行動をす る。
ガソリン消費 削減	専務	エコドライブの 実施	稼働が増えたため ガソリン使用量が増 加した。	△	不要不急の使用を避け、エコドライブに 徹する。
軽油消費 削減	専務	エコドライブの 実施	稼働が増え軽油使 用量が増加した。	△	朝始動時の暖機運転と休憩時のアイドリ ングを短縮する。
CNG 消費 削減	専務	エコドライブの 実施		△	エコドライブの実施により消費量を減ら せるようにする。
産業廃棄物 リサイクル率	佐野	廃棄物の分別の 徹底化	リサイクル率が大幅 にアップ。	◎	リサイクルしやすい廃棄物の取り扱いが 増え、リサイクル率が向上した。引き続き 分別も徹底していく。
水資源削減	専務	洗車時の節水	節水し、こまめな洗 車にした。	◎	高圧洗浄機の利用や、雨上がり時の車 体のふき取りなど工夫できた。
グリーン購入	佐藤	環境配慮事務 用品の購入	目標達成	◎	引き続き努力していく。

(6) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟の有無

法規の名称	主な内容
廃掃法	・契約書の確認 ・マニフェストの保管管理
西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する条例	・一般廃棄物収集運搬許可
家電リサイクル法	・家電リサイクル券の発行
資源有効利用促進法	・再生資源の利用促進
道路交通法	・無免許運転禁止 ・免許証の携帯 ・飲酒運転の禁止
道路運送車両法	・車検証の携行
貨物自動車運送事業法	・運行管理者の選任
消防法	・消火器の設置及び点検

※当社に適用される主な法規は上記の通りで違反等はございませんでした。尚、違反等の指摘は過去三年間ありませんでした。訴訟もありません。

(7) 代表者による全体評価と見直しの結果

2024 年は社会的に不安定で、物価高騰、労働力確保においても不安だらけの年となりました。その中でも、無事故無違反、コンプライアンス重視を合言葉に堅実に業務を遂行してまいりました。その結果、多少の物損事故はございましたが、人身事故は無く、廃棄物の適正処理もでき、取り扱い廃棄物の量も増え、売り上げも微増と安定感のある経営を行うことができました。

エコアクションにおいても、目標数値より排出 CO2 は若干増えてしまいました。このことを糧とし、2025 年の目標達成に向けて努力してまいります。

2025 年も酷暑が予想されております。エコアクション活動も重要ですが、社員の体調管理と合わせてバランスの良い環境経営をしてまいりたいと思います。

限りある資源を大事に、環境を守るためにもエコアクションの社員への理解を深め、地域に貢献してまいりたいと思います。